

世田谷区の街づくりを考える集い Ver.3

～区民の想い 今から未来へ～

主催:街づくりの仲間たち HP <http://machi-nakama.jimdo.com/>

共催:(社)建築家住宅の会 HP <http://kenchikuka-jutaku.org/>

日時 2012年12月16日(日) 18時～

場所 世田谷文化生活情報センターセミナールーム(キャロットタワー5階)

最寄り駅 東急田園都市線・世田谷線 三軒茶屋駅下車 3分

プログラム

開会の挨拶

第一部

ドイツ・シェーナウ市の住民活動の記録映画『シェーナウの想い』……………60分

講演 講師/ 彦根アンドレア(建築家) ……………20分

略歴、「1962年ドイツ生まれ。’87年シュトゥットガルト工科大学首席修了。

’88年團、青島建築設計事務所、’89年磯崎新アトリエ勤務を経て、

’90年彦根建築設計事務所設立。2010年度第11回JIA環境建築賞優秀賞受賞。

『2012年ヨーロッパのエネルギー自立地域視察ツアーを企画し実際にシェーナウ市を訪れる』

意見交換 ……………15分

休憩 ……………10分

第二部

路地状敷地に建つ重層長屋問題の報告 ……………15分

区民有志が作った『もうひとつの基本構想案』の報告 ……………15分

意見交換 ……………30分

閉会の挨拶

参加費 無料 (寄付歓迎)

申し込み先着:100名

申し込み先:メール skyland@jcom.home.ne.jp Fax03-3439-4726

----- Fax 送信表 -----

氏名 _____

住所 _____

連絡先 _____

コメント _____

ドイツから届いたドキュメンタリー

『シェーナウの想い』 ~自然エネルギー社会を子どもたちに~

ドイツ南西部にあるシェーナウ市。2500人の小さなまち。

チェルノブイリ原発事故の影響は、ここシェーナウ市にもおよびました。そこでシェーナウ市の親たち数人が子どもたちを守るため「原子力のない未来のための親の会」（親の会）を結成。



Das Schönauer Gefühl.

90年代の前半にシェーナウ市ではKWR電力会社との電力供給の契約の更新が迫っていました。そこで、脱原発のための再生可能エネルギー、コージェネレーションの導入、コージェネレーション発電の買い取り価格の引き上げを市に求めました。しかし、KWRとの契約更新を決定した市議会を問うために1991年の10月に市民投票が行われ56%の支持票を得て市民グループが勝ちました。

その後、電力を自分たちで供給するために、1994年シェーナウの市民グループは電力供給会社EWSを設立。このような市民による反原発から起こった環境にやさしいつまり人間にやさしい電力を供給する会社の設立という試みは実際に自分の村の原発依存を無くし脱原発につながる道筋を示すと同時に、自分たちの手で自分たちの望む社会を造っていきけるのだと証明したものです。



一人の主婦であったウルズラ・スラーデックさんが祖国ドイツに自然エネルギー社会への転換を促す大きな一助を果たしたとして、世界でもっとも重要な環境賞の一つ、グリーンノーベル賞と言われる「ゴールドマン環境賞」を受賞。